

# 常磐線中距離電車に新型車両を導入！

—— E 5 3 1系交直流電車 ——

2003年12月9日

東日本旅客鉄道株式会社

常磐線中距離電車(上野～水戸～四ツ倉間)に、2005年に新型車両を導入します。  
新型車両は、交流・直流両用電車で、通勤・近郊用電車としては初めて最高運転速度130km/hを可能とします。  
10両編成と5両編成の2種類を導入し、現行と同様最大15両編成で運転されます。  
出入口を片側4箇所として乗降時の混雑緩和を図ります。  
室内設備では、1人当りの腰掛幅の拡大、つかまりやすい吊革の配置、冷房容量の増大や全自動空調や自動放送の採用などにより、快適なサービスを実施します。  
室内の出入口扉上に発光ダイオード(LED)の表示装置で、行先や次駅名を表示するほか、輸送障害時の運行情報を表示します。  
車椅子での利用が可能な大型トイレを15両編成中3箇所設置するほか、プラットフォームとの段差を少なくするため車両の床面を下げるとバリアフリー化を推進します。

## 【導入計画】

現在、常磐線(中距離電車)の通勤・近郊用の老朽化が進んでいる403・415系交直流電車に置き換えて、2005年夏から営業に使用する予定です。(車両の落成は、2005年3月からです。)

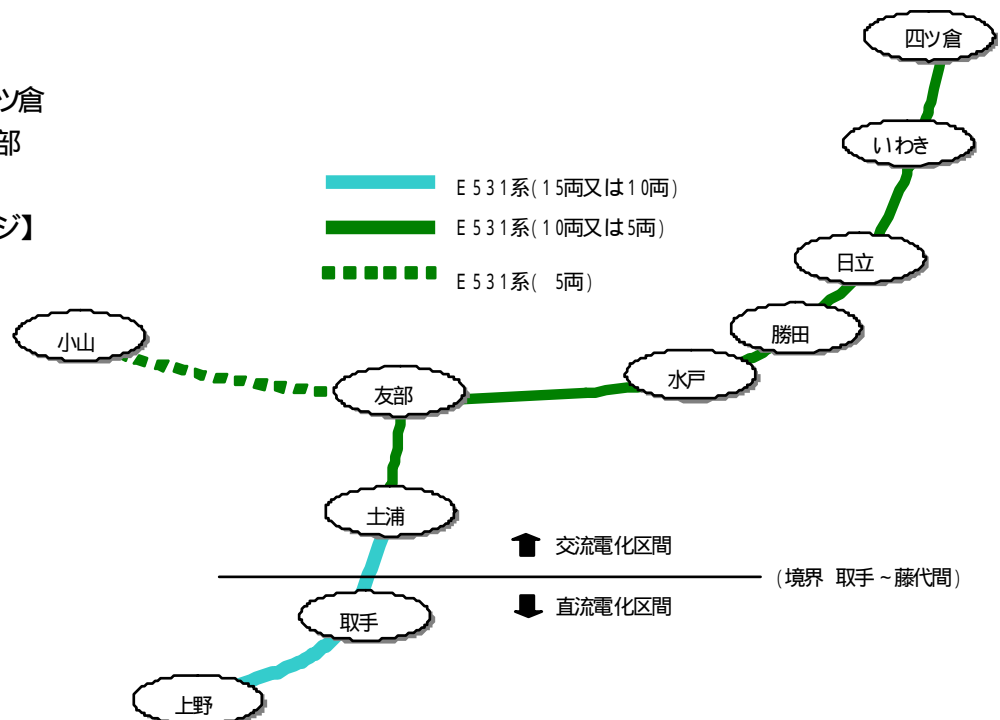
## 【運用区間】

常磐線 上野～四ツ倉

水戸線 小山～友部

## 【投入する車両のイメージ】

別紙参照



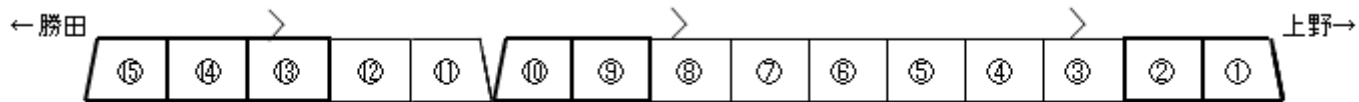
# 車両のイメージ

新型E531系



参考

415系



※太枠はセミクロスシート車、○付数字は号車を示す。

形式	E531系一般形交直流電車	[参考] 403・415系近郊形交直流電車
編成	10両+5両(6M9T)	7両+4両+4両(8M7T)
車体	ステンレス車体	鋼製車体
座席配置	セミクロスシート及びロングシート	セミクロスシート及びロングシート
最高速度	130km/h	100km/h
制御方式	VVVFインバータ制御、交流誘導電動機	抵抗制御、直流電動機
ブレーキ方式	回生ブレーキ併用電気式空気ブレーキ (駐車ブレーキ付)	発電ブレーキ併用空気ブレーキ
情報装置	列車情報管理装置(TIMS)	—————
サービス機器	情報案内表示器	—————
側出入口	片側4箇所 (戸挟み安全機能及び半自動機能付)	片側3箇所
トイレ	3箇所(車椅子対応)	3箇所
バリアフリー	床面高さ1,130mm 車椅子スペース(4箇所) 扉開閉表示灯	床面高さ1,225mm ————— —————